

会議等名	海老名市高齢者保健福祉計画 第4回策定委員会
日時	平成29年8月28日(月) 午後1時30分から3時まで
場所	海老名市役所 政策審議室
出席者	<p>委員：今別府委員、大石委員、松竹委員、山崎委員、大矢委員、内山委員、小賀坂委員、清水委員、越谷委員、手塚委員、河野委員(伊勢田委員、亀子委員欠席)</p> <p>事務局：保健福祉部次長(健康担当) 木村洋  高齡介護課長 萩原明美  高齡介護課主幹兼高齡者支援係長 安本栄  介護保険係長 荒井保  高齡介護課主幹兼介護認定係長 大島みどり  高齡者支援係主事 山崎禎広</p> <p>傍聴者：なし</p>
概要	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 骨子案について【資料1～2】(説明：山崎)</p> <p>(2) その他</p> <p>《質疑・意見等》</p> <p>(1) 骨子案について</p> <p>委員：「生きがいと次世代との交流を図る施策」とあるが、具体的にそういった施策は考えているのか。</p> <p>事務局：地域ふれあい事業の中で、地域によっては子供会とコラボする等行っている。具体的に新しい施策というのは、今は考えていない。</p> <p>委員：市の施設があるところとないところで差がある。資源がないところでどのようにしていくかが課題。</p> <p>委員：若い人を取り込むためにどのようにするかは非常に大事な問題。</p> <p>事務局：認知症サポーター養成講座で学校を対象として開催しようとしているが、実現していない。</p> <p>委員：敬老意識の高揚とあるが、実際にふれあいの場がないと、意識も高揚しないのではないか。</p> <p>委員：サロンの中でも、若い方に趣味の部分でも入ってきていただきたいが、中々入ってこない。</p> <p>委員：中学校等で職場体験をやっているが、連携等はしているのか。</p> <p>事務局：学校が決めていることなので、連携はしていない。</p> <p>委員：太鼓等、サマースクールで授業の中に入れることでふれあいを行うことができる。</p> <p>委員：祭りでいくつかの町内が集まり交流ができる部分もある。</p> <p>委員：高齢者が将棋やこまを教える等のふれあいは、各地区でやっている。</p>

委員：あそびっこクラブで、授業が終わった後に色々なことをやってくれている。学校の中でも、地域の方を呼んで様々なことをしていると聞く。

委員：小中学生が高齢者施設の見学等を行うような行政の施策が必要ではないか。

委員：色々な地区で行われている取り組みを、市が把握していく必要がある。また、役所内での他課との連携も積極的に行ってほしい。

また、小さい頃に施設にいる高齢者を見ていただき、将来自身もそうなるということを実感してもらうことも重要である。

委員：介護者の支援についても考えていく必要がある。介護者の方のつながりが作れるような会もあって良いと思う。

委員：在宅介護実態調査での「施設入所を検討していない」割合が多いことについて、何か理由はあるのか。

事務局：単身世帯で 75%、夫婦世帯で 85%と高いが、理由については項目もなく不明である。

委員：金銭的な問題もあるのではないか。

委員：知り合いにも金銭的に厳しいという方がいる。

委員：入所していても、費用負担の問題があり途中退所する方がいるという話も聞く。家を持っていると、家と施設両方にお金が必要となってしまう。

委員：有料老人ホームの営業の方がまわってくるが、料金が高いとニーズは少ない。入居金が安いところで探してほしいといったニーズが多い傾向がある。条件を満たす特定の施設の紹介も難しいため、施設の紹介業者を紹介するかたちをとっている。

委員：国の方では、慢性期の病院に入っている比較的治療が必要ない方のうち7割が在宅に戻れるのではと考えている。退院となった場合に、在宅に戻るのであればこれからより一層在宅の支援が必要となってくる。

委員：特別養護老人ホームの整備状況について、伺いたい。

事務局：第6期に予定していた100床をまだ整備できていないため、今後整備していくこととなる。現在、県との協議を進めており、30年度に着工し、31年度末に開設予定となっている。

委員：以前、ゴミの戸別回収のモデル地区となった。門扉までは出せるが、ゴミ捨て場まで出しに行けない方もいる。横の連携でゴミ出しの支援体制の構築も必要。

委員：別の会議で、市が有料で戸別回収を行っていきと考えているという話を耳にした。

委員：買い物についても支援が必要な方が多い。生活支援の部分でシステムの確立が必要。

委員：買い物支援については、社会福祉協議会で始めているが、条件の整備がなされないと、継続していくことは難しい。

委員：マンションに住んでいる方で、エレベーターがあれば良いが、5階建てのマンションではエレベーターがないところも多い。高齢者も増えており、支援をしていく必要がある部分だと思うので、検討してほしい。

委員：アンケートでエレベーターの設置について聞くと、「設置してほしくない」といった意見も多く出る。知らない人と個室で隣り合わせることを嫌がる方もいるため、簡単に設置とはいかない部分がある。

委員：包括支援センターの充実が必要であると思う。職員の方が多忙であるとも聞くため、包括支援センターの増設、増員について検討してほしい。

事務局：現在6か所の包括支援センターがあるが、来年度から取りまとめ機関として基幹包括を設置する予定となっている。また、人数についても昨年度までは3名体制だったものを、今年度から4名体制として、包括支援センターの充実を図っている。

委員：今回の骨子案に対する意見について、市で内容を精査していただき、計画にどのように反映させていくかを委員にフィードバックしていただきたい。

事務局：10月頃に次回の策定委員会を行う予定となっているため、その前に再度骨子案をお示しさせていただく。その際には、郵送で送付させていただく予定。

委員：当高齢者施設でも、職業体験を受けていただいているが、短期的なものにとどまっている。また、特別養護老人ホームの整備という話があったが、介護の人材不足という問題があり、施設職員のなり手がいない現状がある。

## (2) その他

- ・本日の資料や議論等について、新たに何か疑問点等があれば別紙の質問用紙にて質問をいただきたい。
- ・次回会議は10月を予定している。詳しい日程については今後調整させていただきたい。

## 4 閉 会

以 上